

木もれ陽

文責 平川 千秋

「社会に出たときに“恥ずかしい人”になりたくない」

3年生と昼休みに面談をしています。生徒の皆さんと一対一で話ができるこの機会を私はとても楽しみにしています。「今一番努力をしていること、一番楽しい瞬間、得意な教科、苦手な教科、玉造中のよいところ」等、こちらの質問に対して一生懸命考えながら答えてくれる様子を見るだけでうれしくなります。



上の「社会に出たときに“恥ずかしい人”になりたくない」は、「将来、どんな道に進もうと考えていますか?」と尋ねたときに、ある生徒が「具体的な“将来の夢”というわけではないのですが、どんな人になりたいかというなら……」と前置きして答えてくれた言葉です。これまでたくさんの中学生に同じ質問をしてきましたが、先日耳にしたこの言葉は、とても新鮮で心に残りました。一般常識をきちんと身に付けた人になりたい、と真剣に答えてくれた姿を見て、玉造中の当たり前5項目がこんなふうに浸透しているのだなと感心しました。

「人として知っておくべきことはしっかり知り、それを行動につなげることのできる人になりたい……」立派な“将来の夢”だと思います。挨拶・返事がきちんとできる人、自分のなすべきことに集中して取り組める人、皆が上達をめざす活動を活発に行える人、無言で清掃に取り組める人、仲間と力を合わせて物事を成し遂げられる人、そんな人物であれば、どんな社会にも適応でき、信頼を得られ、“あの人は、人として恥ずかしい”と言われることはないはずです。

人として自分自身の生き方について、きちんと考えていける中学生はとても素敵です。そしてそれを言葉にして伝えられる表現力は、これから生きる皆さんに求められる力の一つです。さあ、玉中生の皆さん、皆さんはどんな人になりたいですか?

2021 公立高校入試、出題範囲縮小

14日千葉県教育委員会から、来春の公立高校（県立・市立）入試について、新型コロナウイルス対策で休校が続いた状況を踏まえ、出題範囲を一部縮小すると発表がありました。縮小される範囲は次のとおりです。

（教科書のページは、玉中で使用している教科書のもので、3年生は確認してください。）

社会・・・公民的分野の内容のうち「私たちと国際社会の諸問題」に関する部分

（教科書P167～P212）

数学・・・「標本調査」の部分（教科書P198～P210）

理科・・・「科学技術と人間」の内容のうち「エネルギー資源」「科学技術の発展」「自然環境の保全と科学技術の利用」

「自然と人間」の内容のうち「自然環境の調査と環境保全」「自然の恵みと災害」

「自然環境の保全と科学技術の利用」の部分（教科書P258～P291）

※3年生で本来扱う実験の操作方法・観察の手法についても出題しない

